

たてばやし

第232号

市議会だより

編集：館林市議会報編集委員会



新型コロナウイルス
感染症情報はこちら

12月
定例会

固定資産評価審査委員会委員の
選任についてなど
14議案が決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし…………… 2～4 ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表…… 5 ページ
- 一般質問（8人）…………… 6～10 ページ
- 議会運営の流れ…………… 11 ページ
- 常任委員会の審査報告…………… 12 ページ



館林市議会ホームページ
<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>

「東屋（つつじが岡公園内もみじの岡）」

※館林が舞台の一つとなっているTVアニメ
「宇宙よりも遠い場所」の場面に登場します

本会議のあらまし

令和6年館林市議会第4回定例会は、12月6日から19日までの14日間の会期で開かれました。

この定例会に市長から提案された議案は追加議案も含め14件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、承認、可決されました。

また、本会議最終日には、請願4件の審議、邑楽館林医療企業団議会議員・館林衛生施設組合議会議員・館林地区消防組合議会議員の選挙が行われました。

人事案件

▽固定資産評価審査委員会委員の選任についてⅡ固定資産評価審査委員会委員の浅見哲雄さん（尾曳町）の任期が、令和7年1月25日をもって満了となることから、新たに丸岡茂樹さん（本町二丁目）を選任したいとして、地方税法の規定により、議会に対し同意を求められたもので、選任につき全員一致で同意されました。



条例の制定

▽館林市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例Ⅱ平成29年4月に稼働を始めた「たてばやしクリーンセンター」の建設工事に伴い発生し、一般廃棄物最終処分場に仮置きしている産業廃棄物である「廃棄物混入土」について、併せ産廃処理として埋立処分するためには、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づき、生活環境影響調査の結果を記載した報告書を添付して、群馬県へ変更手続を行う必要がある

こと。また、同法の規定において市の条例で定めるところにより、当該報告書を公衆の縦覧に供し、利害関係者が意見書を提出する機会を付与しなければならぬことから、縦覧手続及び意見書の提出について必要な事項を定めるため、本条例を制定しようとするものです。

条例の主な内容については、手続の対象となる施設の種類をはじめ、縦覧の場所及び期間、意見書の提出先及び提出期限、環境影響評価との関係のほか、施設を他の市町の区域に設置する場合などにおける他の市町との協議について定めるもので、全員一致で可決されました。

条例の改正

▽館林市立保育園設置及び管理条例の一部を改正する条例Ⅱ障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に伴い、必要な改正を行うものです。改正の主な内容について

は、「入園の不承諾」の規定を削除するもので、具体的には、本条例の第6条において、入園を希望するお子さんが「感染性疾患を有する場合」、「身体虚弱のため保育に堪えない場合」、「精神病又は悪癖を有する場合」に該当するなど、日常の園生活や保育に耐え得る状態でない場合には、市長は「入園を承諾しないことができる」ということを定めているが、この第6条全体を削除することで、今回の改正趣旨のとおり、不当な差別的取扱い（差別的表現）について見直しを行うほか、条ずれ及び文言を修正するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

追加議案

▽館林市職員の給与に関する条例及び館林市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例Ⅱ国家公務員の給与改定を踏まえ、本市一般職の職員の給与の改定を行うものです。

改正の主な内容については、まず、給料月額を、若年層に重点を置いて本年4月1日に遡及して平均3・4%引き上げる。また、本年12月期に支給する期末手当及び勤勉手当の支給月数をそれぞれ0・05月分引上げ、令和7年度以降については、6月期と12月期の期末手当及び勤勉手当の支給月数が均等になるよう配分する。また、扶養手当、通勤手当等について、国家公務員に準じて額の改定等を行うほか、一般職の任期付職員について、国家公務員の例により所要の改正を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市特別職の職員の期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例Ⅱ本市職員の期末手当及び勤勉手当の改定に準じて、本年12月期に支給する特別職の期末手当の支給月数を0・10月分の引き上げ、令和7年度以降については、6月期と12月期の期末手当の支

給月数が均等になるよう配分するため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
本市職員の給与改定に準じて、第2号会計年度任用職員の給料月額改定等を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

その他の議案

▽財産の無償貸付けについて
Ⅱ館林市総合地方卸売市場の土地・建物等（細内町字白山615番1 宅地1万9964・79㎡ほか）の貸付期間が令和7年3月31日をもって満了となるが、地域の食料を安定して供給する地方卸売市場の役割を担うため、引き続き、令和7年4月1日から同10年3月31日まで、市場の管理会社である館林総合卸売市場株式会社は無償で貸し付けることについて、地方自治法の規定により、議会に對

し議決を求められたもので、全員一致で可決されました。



館林市総合地方卸売市場

専決処分

▽専決処分の承認を求めることについて（令和6年度館林市一般会計補正予算（第3号））
Ⅱ第50回衆議院議員総選挙の執行に伴い、2789万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ320億126万5000円とする補正予算を専決処分し、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

補正予算

▽令和6年度館林市一般会計補正予算（第4号）
Ⅱ

国庫支出金の内示、寄附金の受入れに伴う予算化及び当面予算措置を要する経費について補正するため、13億441万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ333億568万4000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和6年度館林市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
Ⅱ一般被保険者保険税還付金及び還付加算金の追加に伴い、250万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ80億4177万3000円とするもので、全員一致で可決されました。

追加議案

▽令和6年度館林市一般会計補正予算（第5号）
Ⅱ職員及び会計年度任用職員の給与改定、退職手当の追加、人事異動に伴う職員給与の組替えなどのほか、国の交付金を活用しながら、物価高騰へ対応するための事業費の追加など、早急に予算措置を要するものについて補正するため、10億314

0万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ343億3709万3000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和6年度館林市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
Ⅱ一般会計と同様に、職員及び会計年度任用職員の給与改定、人事異動に伴う職員給与の組替えなどによる職員人件費の補正のため、296万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ80億474万1000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和6年度館林市介護保険特別会計補正予算（第1号）
Ⅱ一般会計と同様に、職員及び会計年度職員の給与改定、人事異動に伴う職員給与の組替えなどによる職員人件費の補正のため、328万9000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ69億4813万8000円とするもので、全員一致で可決されました。

事業会計補正予算（第1号）
Ⅱ一般会計と同様に、職員及び会計年度任用職員の給与改定、人事異動に伴う職員給与の組替えなどによる職員人件費の補正のため、資本的収支予算において、62万円を追加し、11億2547万8000円とするもので、全員一致で可決されました。

請願

▽新型コロナウイルスの次世代型mRNAワクチンである「レプリコンワクチン（コスタイベ筋注）」に関する請願書
Ⅱ本請願の主な趣旨は、新たに承認された新型コロナウイルスの次世代型mRNAワクチンであるレプリコンワクチンについて、接種により重篤な健康被害が及ぶ危険性があることなど、様々な弊害を指摘する研究者がいること。安全性と有効性の検証が不十分なまま実戦投入されたことなどから、1つ目として「接種によるデメリットを市民に公表すること」、2

つ目として「接種の推進をしないこと（広報車両の使用や広報紙への記載をしないなど）」、3つ目として「接種券の一斉配布をしないこと（脂質ナノ粒子をプラットフォームとするすべての新型コロナワクチンをはじめ、レプリコンワクチンであるかどうかにかかわらず、これ以上、新型コロナワクチンの接種を推奨しないこと）」、以上の3項目について、本市に対し要望するもので、請願の採択に賛成・反対それぞれの立場から討論が行われ、賛成少数で不採択とされました。

▽**ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める請願書**
 本請願の主な趣旨は、まず、政府は、2024年の診療報酬・介護報酬・障害福祉報酬の改定で、賃上げに特化した「評価料」や「加算」を盛り込み、「2・5%のベースアップ目標」としていたものの、実際の診療報酬のベア評価料や介護報酬の新加算は、目標に

及ばないばかりか、定期昇給分を含めても2・0%程度の賃上げにとどまったことから他産業では5から10%の賃上げが実現している中で、ケア労働者の賃金水準は全産業から大きく下回る事態となっていること。また、現在の医療・介護現場では、退職者が増加し、入職者が減少する事態が広がっている。例えば、群馬県の高齢化率は、2022年度で31・0%と全国平均を上回っているが、それに対する介護職員数は、高齢化がピークに達するとされる2040年度には7845人が不足する見通しが報道されているにもかかわらず、県内の介護福祉士養成施設では、入学者の減少が続き、新卒の介護福祉士の採用が年々困難となっている。その背景には、過酷な労働実態とそれに見合わない低賃金があることは紛れもない事実であること。さらに、コロナ禍で経験した「医療崩壊」「介護崩壊」を人員不足が原因で繰り返す

ことがないよう、また、事前災害対応や新たな感染症に備えるためにも、平常時から必要な人員体制の確保が必要であることなどから、1つ目として「医療や介護現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと医師・看護師・介護職員などの配置基準を抜本的に見直し、大幅に増員すること。また、人員確保のために必要な追加支援策を実行し、支援すること。」2つ目として「すべての医療機関と介護事業所等を対象に、物価高騰や人件費増を補えるだけの診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬を抜本的に引き上げる臨時改定を実施すること。」以上の2項目について、国に対し意見書を提出してほしいというもので、請願の採択に賛成の立場から討論が行われ、賛成少数で不採択とされました。

▽**日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める請願書**
 本請願の主な趣旨は、まず、世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へと進もうという声が広がっており、多くの国々が被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し参加しつつあること。また、唯一の被爆国である日本政府は、核兵器廃絶のため最も積極的な役割を果たすべき立場であり、国際社会からもその役割が求められていること。さらに、国内の世論調査において、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声が6割を超えていることなどから、これらの国民の声に応え、核兵器のない世界を目指す取組の先頭に立つよう日本政府及び国会に対し、核兵器禁止条約に署名・批准することを求める意見書を提出してほしいというもので、請願の採択に賛成の立場から討論が行われ、賛成少数で不採択とされました。

成島南地区にある東武小泉線成島駅の西部に位置し、成島区民会館に隣接する約600坪の竹林について、市内において高地にあり、ハザードブックにおいても安全地帯とされていることなどから、本市に対し、当該用地を購入し、災害避難広場として整備することを要望するもので、請願の採択について賛成・反対それぞれの立場から討論が行われ、賛成多数で採択とされました。

その他

▽**邑楽館林医療企業団議会議員の選挙**

選挙の結果、岩上博志議員が当選されました。

▽**館林衛生施設組合議会議員の選挙**

選挙の結果、池森のり子議員、斉藤貢一議員、吉野高史議員が当選されました。

▽**館林地区消防組合議会議員の選挙**

選挙の結果、岡野陽子議員、堀口きく枝議員が当選されました。

令和6年第4回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

議案等名		議席番号																		結果
		議員名																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		小林但弥	池森のり子	飯島一志	岡野陽子	堀口きく枝	岩上博志	野本泰生	田辺純子	柴田信	平井玲子	川村幸人	渋谷理津子	権田昌弘	斉藤貢一	篠木正明	吉野高史	遠藤重吉	野村晴三	
議案第53号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	同意
議案第54号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度館林市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	承認
議案第55号	館林市立保育園設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号	館林市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第57号	財産の無償貸付けについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第58号	令和6年度館林市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第59号	令和6年度館林市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第60号	館林市職員の給与に関する条例及び館林市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第61号	館林市特別職の職員の期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号	館林市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第63号	令和6年度館林市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号	令和6年度館林市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第65号	令和6年度館林市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第66号	令和6年館林市下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第7号	新型コロナウイルスの次世代型mRNAワクチンである「レプリコンワクチン（コスタイベ筋注）」に関する請願書	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	—	●	○	●	○	●	●	不採択
請願第8号	ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める請願書	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	—	●	○	○	○	●	●	不採択
請願第9号	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める請願書	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	—	●	○	○	○	●	●	不採択
請願第10号	館林西部地区「災害避難広場」整備に関する請願	○	○	●	●	○	○	○	退	○	○	○	—	○	●	●	●	○	○	採択

※渋谷理津子議長は採決に加わりませんので「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対 退：退出】

一般質問

今定例会における一般質問は、12月10日・11日の2日間にわたり行われ、8人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をただしました。

内容は広範にわたっており、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人の責任をもって要約したものです。)

12月10日

飯島 一志 議員 (7ページ)

- 防災、防犯の取組と地域力について
- DXと生成AIの活用について

平井 玲子 議員 (7ページ)

- GIGAスクール構想で配備された端末の更新とHPVワクチン接種について

岩上 博志 議員 (8ページ)

- 部活動地域移行の進捗状況等について

堀口 きく枝 議員 (8ページ)

- 市内ごみステーションのごみ出しについて
- 子どもを産み育てる環境について

12月11日

田辺 純子 議員 (9ページ)

- 学校給食の無償化とオーガニック化について

篠木 正明 議員 (9ページ)

- まちなかの賑わい再生について

斉藤 貢一 議員 (10ページ)

- 受益者負担の考え方と施設運営について

吉野 高史 議員 (10ページ)

- 給食費無料化は世の流れ、今後について
- 体育館の冷房化について

スマートフォンやタブレットからも視聴できます！



市議会のHP ホームページ をぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>

市議会トップページ



ライブ＆録画映像配信はこちら



<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>

なお、各議員の質問の様子は次のページからの「二次元コード」を読み取るとご覧になれます。

会議録の検索はこちら



<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。※12月定例会の会議録は2月上旬頃掲載予定です。



防災、防犯の取組と地域力について DXと生成AIの活用について

飯島 一志 議員



質問 地域の防災訓練の現状と課題について伺います。

答弁 自主防災組織は、そのほとんどが他の役員との兼務であり、防災に特化した人材が少ない状況です。防災訓練は役員だけが行うものではなく、地域の様々な方が参加することが必要であり、そのような環境づくり

に努めることも重要であると考えています。

質問 地域防犯活動を推進するに当たっての課題について伺います。

答弁 防犯カメラや防犯灯などのハード面と、防犯パトロールといったソフト面での両輪で効果を発揮するものと考えています。地域

との関わりが希薄になる中、担い手が不足していることも大きな課題として認識しています。

質問 地域力向上に向けた事業について伺います。

答弁 地域住民が集う、学ば、結ぶ機会を提供し、世代間交流をはじめ、交流できる場づくりに努めています。体験を通して、お互いに協力して助け合う、共助の取組を主体的に行えるよう事業を続けていきたいと考えております。

質問 DX化に伴うセキュリティを含めた取組状況について伺います。

答弁 Wi-Fiの設置、AI議事録、窓口業務支援システム、フロアコンシェルジュの配置などを行い、セキュリティ対策についても、職員研修などを通して注意喚起を行っています。

質問 今後の取組と将来像について伺います。

答弁 生成AIの活用を推進し、今後は、日常業務の多くを効率化することで、

職員はよりクリエイティブな業務に専念できるようになります。また、大量のデータを分析することができるようになるため、地域の課題をより正確に把握し、効果的な政策を立案することが可能になるので、地域社会全体の発展に寄与するところが期待されます。



GIGAスクール構想で配備された 端末の更新とHPVワクチン接種について

平井 玲子 議員



**GIGAスクール構想で
配備された端末の更新**

質問 本市の端末の更新時期は。

答弁 令和8年度に更新を予定しています。

質問 買い換えの必要数は。

答弁 小・中学校の児童生徒数分となる約5000台を予定しています。

質問 財源も含め、更新端末の調達については。

答弁 国の予算で都道府県に基金をつくり、そこから補助金を交付するものとなっています。本市におきましては、国の基準に従い、更新端末の共同調達を行いたいと考えています。

質問 文部科学省では更新

端末への補助に当たり、端末の整備・更新計画の考え方及び更新対象端末のリース、リサイクル、データ消去等、処分計画の策定・公表を義務付けています。本市では端末をどのように処分するのか。

答弁 データ処理が確実に行われたことを確認の上、国の基準に従い廃棄を実施したいと考えています。

HPVワクチン接種

質問 今回、キャッチアップ制度が条件付きで期間延長

の経過措置が取られました。令和7年3月末までに1回以上接種した方、限定です。対象者への対応は。

答弁 国からの通知を受け次第、周知啓発を広報紙、ホームページ、公式ラインやXなどで行いたいと考えています。また、令和7年度は個別勧奨通知の送付を予定しています。

質問 日本では男性は定期接種の対象となっていないが、一部自治体では独自に公費助成して接種を促し

ています。男性へのHPVワクチン接種について、県内の助成状況を含め、今後の市の考えは。

答弁 桐生市と渋川市でHPVワクチンの助成が行われています。本市としては、国や近隣の動向を十分注視しながら、引き続き研究、検討していきたいと考えています。





部活動地域移行の進捗状況等について

岩上 博志 議員



質問 休日に地域移行として活動し始めた体操・バレーボールについて伺います。

答弁 令和5年度より、体操・バレーボールにおいて地域クラブ活動の先行実施に取り組んでいます。6年度は、体操で2名の教職員が兼職兼業として地域クラブ活動に携わっており、地

域指導者として体操で部活動指導員1名を含む2名、バレーボールで男女合わせて7名が携わっています。

質問 休日の部活動について、運動部以外の文化部の活動の様子はどのようになっているのか伺います。

答弁 吹奏楽部のみが休日

予算による外部指導者を、

第二中と第三中の吹奏楽部に1名ずつ配置しています。また、1校の吹奏楽部では、保護者から集めた部

費の活用による講師や、ボランティアによる指導者を招くなどしています。

質問 指導者の確保が課題となっていますが、教職員の意識調査はどのようになっているのか伺います。

答弁 休日の地域クラブ活動における指導者としての協力については、「ぜひ協力

したい」「協力してもよい」合わせて19・5%の教職員が、協力の意思を示していることが分かりました。

質問 地域移行に関連して多くの小・中学生の保護者や地域の方々が学校体育館へのエアコン設置について要望しています。エアコン設置についての市長の考えと、今後の学校体育館へのエアコン設置予定について伺います。

答弁 体育館への空調設備の設置は、体育の授業や部

活動、集会場、そして近年

では、児童生徒の熱中症対策として大変重要であるとともに、万が一の災害発生時において避難所としても

利用される施設であるため、防災機能強化の観点からも必要性は高いものと認識しています。来年度予算に空調設備費の設計費用を計上し、中学校から小学校へ段階的に整備をしていきたいと考えているところです。



市内ごみステーションのごみ出しについて

堀口 きく枝 議員



質問 市内ごみステーションの設置場所はいくつあるのか伺います。

答弁 可燃ごみ、不燃ごみ、資源物及びプラスチックのステーションが合計3282か所です。

質問 今後の行政区への監視カメラ貸出しの運用について伺います。

答弁 行政区のご意見を伺いながら、貸出し期間の見直し等、弾力的な対応を図り、在庫が不足の状況が続くようであれば、貸出しカメラの追加も検討していきたいと考えています。

質問 ごみステーションの設置の管理に関し、補助金を交付する予定はあるのか

伺います。

答弁 行政区ごとに、ごみステーションの形状、設置場所や設置方法が異なり、市内全域に平等に補助金を交付することが難しい状況であることから、現在提供しているごみネットにおいてもつける仕様にするなど改良し、更なる衛生面の向上を図っていきます。

質問 人口増を図る上で医療機関の充実が必要です。地域のために今後も要望を続けてほしいと願いますが、

館林厚生病院で、お産ができない理由を伺います。

答弁 平成24年に産婦人科医の医師派遣の引き揚げがあり、現在も群馬大学からの医師派遣を要望していますが、分娩を再開するためには、常勤の医師3名と非常勤の医師3〜4名がいないと体制が組めず、また出産後の子どもの医療体制も小児科の医師が必要数おらず、周産期チームの体制をつくることできない状況が続いています。

質問 こども家庭庁の企業主導型ベビーシッター利用者支援事業の概要について伺います。

答弁 仕事と子育ての両立を支援する提供体制の充実を図り、承認事業主に直接雇用の労働者を利用対象として就労のためベビーシッターサービスを利用した場合に、料金の一部または全部を助成する事業です。

要望 本市でも、今後利用者が増えるようであれば、補助制度を要望します。



学校給食の無償化と

オーガニック化について

田辺 純子 議員



質問 学校給食費の未払いの状況を伺います。

答弁 令和元年度84人、同2年度60人、同3年度51人、同4年度61人、同5年度が24人で極端に少ないのは、1月から3月までの無償化が影響したものと推測しています。

質問 無償化が何よりの支

援になると思うが、困っている家庭をどのように支援するのか伺います。

答弁 学校生活に必要な費用の一部を援助する就学支援制度による給食費の実費分の援助や、申出による児童手当からの天引き、滞納が続く世帯に対し、納入相談を行っています。



まちなかの賑わい再生について

篠木 正明 議員



質問 ウォーカブルなまちづくりを具現化する計画として、都市再生整備計画（館林駅東地区）がありますが、どのような事業を実施するのですか。

答弁 計画に位置付けられた公共施設の整備事業は、太陽の園改修事業と南こども園整備事業です。来年度

には市民と協働で、まちなかの将来ビジョンの策定や社会実験などを実施します。
質問 太陽の園、計画では、イベントなど多様な都市活動に利用するための広場として、（仮称）大辻広場の改修が入っています。しかし、イベントに利用するには狭すぎると思いますが

質問 児童福祉法の規定で児童は18歳までとし、医療費無償化も18歳までです。第3子の規定で年長の子を18歳とする考えを伺います。

答弁 物価高騰の状況も踏まえ、段階的に中学生の無料化を拡充していきたいと考えています。

質問 重点支援地方交付金を活用した学校給食費の無償化の考えを伺います。

答弁 事業化を検討はしていますが、現在は準備をしているところで、学校給食

どう考えていますか。

答弁 十分な広さはないという認識はあります。大辻広場だけでなく、周辺の市民センターや二業見番組合事務所なども活用し、回遊性を持たせたイベントも考えながら、歩いて楽しめるまちづくりにつなげていきたいと考えています。

質問 社会実験を行うと言われましたが、これまでも館林駅東口広場でキッチンカーによる社会実験や館林駅前通りパークレット社会

の支援についても、内部で検討する中で候補に挙げていきたいと考えています。

質問 オーガニック給食について一般質問し、2年経過したが、考えを伺います。

答弁 学校給食センターで使用する食材の調達量の確保が難しく、現状、導入は非常に困難と考えています。

質問 今後の取組について伺います。

答弁 オーガニック食材を取り巻く環境は大きく変化していないので、引き続き

実験を行いました。この結果はどうだったのですか。

答弁 駅前広場のキッチンカーは盛況でした。その後の実施を検討し、駅前広場の道交法による制限や許可条件について、警察と協議しましたが、道路利用者の強い要望で不許可となりました。パークレットの利用者アンケートでは、賛否が分かれました。

質問 今、中央通り線の整備が行われていますが、歩道が4m、休憩施設帯が2・

今後の状況を確認していきたいと考えています。

質問 全国的には状況は変化しています。みどりの食料システム戦略等で国も奨励している方向で、今後一般質問で取り上げたいと思います。次に、学校給食費の補助が一番低いが、周辺自治体との格差について市長の考えを伺います。

答弁 前向きに幅広く議論を進め、財政状況を踏まえながら段階的に検討していきたいと考えています。

5mあります。そこをイベントに使えないと無駄に広い歩道になってしまいます。警察と協議し、イベントができるようにすべきだと思いますが、いかがですか。

答弁 道路空間も有効に活用するという国の方針もあり、歩道が広ければ、イベントやオープンカフェなどの使い方が条件付きでできるようにしました。その点も踏まえ、他の自治体の事例も参考にしながら取り組んでいきたいと思っています。



受益者負担の考え方と 施設運営について

斉藤 貢一 議員



質問 サービスに対する市民のニーズの多様化、税収減、経済環境の悪化の中、負担の公平性の観点から、公費負担、利用者が負担する受益者負担の割合についても、積算方法や負担割合を明確にし、定期的な見直しと基本方針を市民に示すべきと思うが、考えを伺います。

答弁 行政サービスや公共施設に係る経費は、物価変動や社会情勢、サービス内容により変動していくため定期的に適正化を図る必要があります。また、経費のうち、公費と受益者の負担割合基準を明確にし、市民の理解を得ることも必要と

考えています。

質問 学校の施設使用料について伺います。館林市立学校施設使用条例では、体育館・校庭等の使用料を定めているが、学校体育施設開放事業では、利用者に減免どころか、市が運営委託料を支払い、利用されている状況です。このことを、どのように考えていますか。

答弁 学校体育施設開放事業では、目的が社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場の確保という

観点から、当初は使用料の徴収を行わなかったものと考えています。

質問 公民館の使用料徴収でも、減免措置対象に社会体育団体、社会教育団体、社会福祉団体と明記されていますが、その根拠は、はっきりと示されていません。また、公民館利用には、その減免判断を館長の裁量に任されている実態があります。減免の不公平感を正すためにも、こうした団体の要件を定め、教育委員会での

認可した上で減免団体とする認定制度に移行すべきと思うが、考えを伺います。

答弁 民間の習い事、教室等との差異も考慮し整理していかなければならないと考えています。また、団体の中身についても、明確な基準がありませんので、今後研究してまいります。



給食費無料化は世の流れ、今後について 体育館の冷房化について

吉野 高史 議員



質問 今後、給食費の無料化に向けた取組は。

答弁 今後は保護者の負担軽減を図っていきます。

質問 給食費を無料化にしたとき、目に映る光景は。

答弁 給食費が無償化することは喜ばしいことです。

質問 私の目には、バラ色の都市像が浮かんできます。

婚活には市外の本市出身者にも声をかけてほしい。若者が本市に戻ってくるきっかけにもなるが。

答弁 商工会議所青年部に依頼し、婚活パーティーを実施しています。

質問 本市職員や厚生病院の看護師などが婚活パーティーを一緒にやれないか。

答弁 公務員、民間は関係なく、多くの方が結婚し喜びを伝えることが有効です。

要望 館林まつりのときに、出会いの婚活広場を設けて、きっかけづくりを推進してほしい。

質問 小・中学校体育館の冷房化を進めるための国や県からの補助金は。

答弁 令和7年度まで補助率21%、対象工事が上限7000万円です。また、緊急防災事業費も対象ですが、令和7年度で終了です。

質問 令和7年度で終わってしまう。今設計して国の予算を分捕って冷房費に充てる。時間が無い、すぐにやるべきだ。また、災害時の冷房化にもつながるが。

答弁 設置工事が伴う。小中学校を全部設計する個別案件なので難しいと思います。

質問 11校で1つ設計すれば済む。知恵を出さなくてはダメですよ。中学校を7年度に、8年度と9年度に小学校を行うなどの考えは。

答弁 吉野議員も結論を言ったが、16校に対し段階を追ってやらなければならぬことも認識しています。

質問 古い行財政運営を時代にあう運営にすべきだが。

答弁 公共施設の規模等、適正化を図っていきます。

質問 今年3月に20代30代の職員が14人辞めているが、どのように考えるか。

答弁 職場環境の整備に努めていきます。

要望 職員が一人も辞めないよう職場環境をシッカリとすることを要望します。

ご存じ
ですか？



```

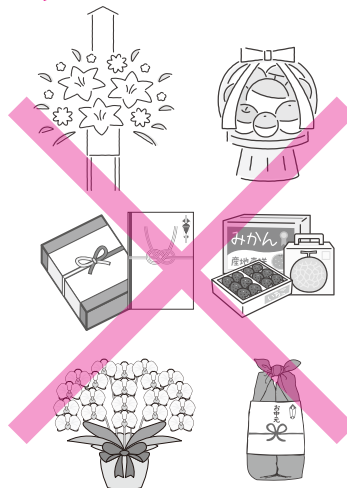
graph LR
    Mayor[市長] --> Proposal[議案]
    Councilor[議員] --> Proposal
    Citizen[市民] --> Petition[請願・陳情]
    Proposal --> CityAssembly[市議会]
    Petition --> CityAssembly
    CityAssembly --> MainSession[本会議]
    
    subgraph SessionFlow [ ]
        Opening[開会] --> ProposalExp[提案説明]
        ProposalExp --> QA[質疑]
        QA --> Discussion[討論]
        Discussion --> Vote[表決]
        Vote --> Closing[閉会]
    end
    
    GeneralQ[一般質問] --> Entrustment[付託]
    Entrustment --> Committee[委員会]
    Committee -- 報告 --> QA

```

館林市議会では、現在、総務文教常任委員会、市民福祉常任委員会、経済建設常任委員会の3つの常任委員会が設置されています。

贈らない！
求めない！
受け取らない！

No!



常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は請願2件で、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める請願書の審査では、まず、紹介議員に対し出席を求めることを決定し、請願の趣旨等について説明を受けました。次に、秘書課からの参考意見の陳述がなされた後に審査が進められ、採決の結果、賛成少数により不採択すべきものと議決されました。

館林西部地区「災害避難広場」整備に関する請願の審査では、まず、紹介議員に対し出席を求めることを決定し、請願の趣旨等について説明を受けました。次に、安全安心課からの参考意見の陳述がなされた後に審査が進められ、採決の結果、賛成多数により採択すべきものと議決されました。

市民福祉

付託された案件は議案2件と請願2件で、まず、館林市立保育園設置及び管理条例の一部を改正する条例、館林市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例の2議案については、採決の結果、それぞれ全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、請願については、新型コロナウイルスの次世代型mRNAワクチンである「レプリコンワクチン（コストイベ筋注）」に関する請願書の審査では、まず、紹介議員に対し出席を求めることを決定し、請願の趣旨等について説明を受けました。次に、健康推進課からの参考意見の陳述がなされた後に審査が進められ、採決の結果、賛成少数により不採択すべきものと議決されました。

ケア労働者の賃金値上げ

と大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める請願書の審査では、介護保険課からの参考意見の陳述がなされた後に審査が進められ、採決の結果、賛成少数により不採択すべきものと議決されました。

経済建設

付託された案件は、財産の無償貸付けについての議案1件で、まず、当局から説明を受け、館林市総合地方卸売市場の現地調査を行った後に審査を行い、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、報告事項として、まず、都市計画課及び産業政策課から、渡瀬南部第二産業団地（仮称）について、次に、下水道課から、館林市下水道事業経営戦略の改定についての報告がありました。



議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

本会議・常任委員会・特別委員会はだれでも傍聴することができます。議会では皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。手続は議会棟3階及び4階で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけです。なお、傍聴席には限りがありますので、団体の場合はあらかじめ議会事務局までご連絡ください。

【3月定例会の予定】

- 2月21日(金) 本会議＝会期の決定、議案提案説明など
- 25日(火) 本会議＝議案に対する質疑、委員会付託など
- 26日(水)・27日(木) 本会議＝一般質問
- 28日(金)・3月3日(月) 委員会＝常任委員会（総務文教・市民福祉・経済建設）
- 3月4日(火)・5日(水)・6日(木) 委員会＝予算特別委員会
- 12日(水) 本会議＝表決

☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることもあります。

☆一般質問の通告順位表は、2月19日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。

(<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp>⇒ページ下部の市議会をクリックしてお入りください。)